

令和3年度
外部評価への対応方針

令和4年6月

令和3年度外部評価結果への対応方針

番号	1
事業等名	つくし園管理運営費
担当課	障がい福祉課、つくし園
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のサービスを他の方法で維持できないのか検討がなされた上で、現状のまま事業を続けていくべきだという判断がされているのであればよいが、現状維持なのか、それとも見直す必要があるのか、十分に検討がされていない印象を受ける。状況やニーズを踏まえ、民間に委ねることも含めて他のやり方が可能なものか、仕組みそのものを考えていくべきである。 ・利用者数が伸びておらず、客観的に見てうまくいっていない中で、より利用しやすい仕組みを作り、働きかけていく必要がある。 ・子どもたちの成長に関わる様々な事業を関係部署と連携しながら丁寧に取り組まれていることがわかった。事業内容は必要不可欠なものであると考えるが、取り組みに対する理解は十分に浸透していないと思われる。市民に活動を知っていただく手立てが必要ではないか。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>利用者数が伸びていないことから、市民に対して活動を知っていただく手立てを含めた周知の仕方に課題があると考えられるほか、現状の施設、運営方法、管理のあり方について本格的な検証ができておらず、事業のあるべき姿が見えていない状況であると見受けられる。</p> <p>児童発達支援の担い手として役割を果たしていくために、市としてどのようなかたちが最適であるのか、あるいはすでに公設としての役割は果たしたのかしっかり検証・検討していく必要がある。</p>
対応方針	
<p>1. 活動内容の周知</p> <p>普段の療育や季節の行事、専門職と行う活動の他、各種相談事業の内容等を定期的にホームページ等に掲載し、つくし園の活動内容を幅広く周知してまいります。</p> <p>2. 利用しやすい仕組み作り</p> <p>幼稚園や保育園との併用児が年々増えており、園の行事等の都合で午後の療育の方が利用しやすいとのご意見が寄せられていますので、ご要望に添った体制を整えることや、定期的にご利用いただくため、集団療育と個別指導の利用の仕方を一人一人のニーズに合わせて提案するなど、利用しやすい仕組みを作ってまいります。</p> <p>3. 児童発達支援事業所としての管理のあり方についての検証</p> <p>保護者アンケートの実施及び他市町村の同事業所の状況を調査し、運営方法、管理のあり方について、検証してまいります。</p>	

令和3年度外部評価結果への対応

番 号	2
事業等名	小学校施設整備事業費、小学校施設維持管理費、小学校施設改修事業費、中学校施設整備事業費、中学校施設維持管理費、中学校施設改修事業費
担当課	教育総務課
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の学校の仕組みについてどうあるべきか、早急に、抜本的に検討していかなければならない。教育委員会だけでなく、市全体が一丸となって考えていくべき問題である。 ・現状は学校の統廃合について検討がされていない状況であるため、先を見据えて検討する必要がある。まだ計画ができていないということ自体がかなり遅い。 ・一番の問題は、子どもたちの教育水準をどのように担保するのかである。 ・本来の学区よりも安全に通うことができるという理由から、希望により指定校を変更する手続きがあり、本来の児童数が少しずつ変わっている。早く議論を進めないと児童数・生徒数の偏りはもっと厳しい状況になると思われる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>現状、子どもたちのことを考えて、学校施設についてどのようなあり方がよいのか検討する場がない。今後、児童数・生徒数が減少していくことが見込まれている中で、学校施設は地域にとっても重要な拠点施設であるので、今後施設の統廃合や維持管理をどのように考えるのか、学校だけではなく地域の拠点として活用していくという可能性まで含め、検討結果や方向性が出せていないという状況は遅れていると言わざるを得ない。</p> <p>今後の進め方をはじめ、子どもたちの教育水準の担保、地域との協議など課題は多いと思われるが、市全体で検討する動きを作り、早急に進めていくべき問題である。</p>
対 応 方 針	
<p>少子化による児童数・生徒数の減少の中で、学級数等を考慮し、子どもたちに最良の教育を提供していくための学校施設のあり方について検討してまいります。</p> <p>また、学校施設のあり方を踏まえた中で、多方面からの検討を行う体制づくりについて、調査研究を進めてまいります。</p>	

令和3年度外部評価結果への対応

番号	3
事業等名	小学校教育振興費（GIGA スクール構想）
担当課	学校教育課
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業についてどのような可能性があるのか、予算があれば実施できることは多いと思うが、市としてどこまで費用をかけられるのか終着点が見定められていない印象がある。そのため、今できることを1つずつ行っている印象を受けるが、本来は先に計画があって、「いつまでに何をやる」という展望があるべきである。 ・費用面のバランスも含めて今後の運用を考えていく必要がある。 ・今後、国からの補助金がなくなり、市の財源で予算計上する単独費として運用していくことになった場合、予算上の都合から事業が先細りしてしまうことがないか心配である。 ・教育委員会内での構想と中身が各学校現場でどの程度理解され、実行できているのか疑問を感じる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続（ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ） <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>教育委員会目線での構想と、市の財政的な視点、また学校現場での実務上の視点をすり合わせ、今後進めていくべきことは何か、「いつまでに何をやる」という展望の下、現実的に継続して運用できる範囲を考えていく必要がある。</p>
対応方針	
<p>学校におけるICT環境整備につきましては、文部科学省が策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を基準として整備を進めており、2022年度に整備完了することを目標に進めてまいります。</p> <p>また、ICT環境の整備により、学校現場では、一人一台端末を活用して、4つのステップ（①検索サイトを活用した調べ学習②一斉学習の場面での活用③文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用④一人一人の学習に応じた個別学習）で段階的にICTの活用に関する学習を進めており、2023年度末までに最終段階まで浸透させることを目標に進めてまいります。</p> <p>なお、今後の運用にあたっては、学校現場と連携し、教育的ニーズや費用対効果を考慮した中で優先順位を決めてバランスよく進めてまいります。</p>	

令和3年度外部評価結果への対応

番 号	4
事業等名	在宅老人援護対策費
担当課	高齢者福祉課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許非所持者へのタクシー運賃等の助成については、高齢者福祉の観点としての本事業のみで問題解決するのではなく、公共交通の面なども含めて大局的に考えるべき問題である。高齢者は公共交通も利用しているため、他の部署とも意見を交わしながら、縦割りではなく連携しながら進めるよう尽力してほしい。 ・市全体としての連携や民間の知恵も拝借しながら進めることも考えていかなければ、財源的な問題からどうしようもなくなる可能性もある。早急に研究会等を立ち上げて議論を尽くしていただきたい。 ・年度毎の目標は定めていないとのことであったが、事業を行っている以上、目標設定は必要と考える。 ・現状について課題があると考えているのであれば、直ちに問題提起し、どうあるべきか検討し、前に進めていく考えを持っていただきたい。検討だけで終わることがないように、しっかり進めていただきたい。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>運転免許非所持者へのタクシー運賃等の助成事業については、事業を進めていく上でのニーズ調査や事業の基礎調査が行われておらず、振り返りができない状況に陥っている。このため、事業のあり方について深い議論をすること自体が難しく、結果として追認的・前例踏襲的な姿勢から、課題を見出して対応していこうとすることを妨げており、まずはこの点を改める必要がある。今後は、効果や妥当性の検証を着実に実施し、市や市民にとってどのようなかたちが最適なのか、公共交通や民間活用を含めた様々な手法を研究し尽くした上で大局的な検討がなされるべきであり、早急な対応が望まれる。</p>
対 応 方 針	
<p>高齢者外出支援タクシー制度（運転免許非所持者へのタクシー運賃等の助成）につきましては、平成29年3月に策定した「八街市地域公共交通再編実施計画」の中で、ふれあいバス路線の改正（1路線の廃止）と併せて高齢者の交通手段の確保策として導入しましたが、高齢者人口の増加に対し、財政負担を考慮した中で制度を維持していくことが課題となっております。</p> <p>このため、公共交通における外出支援策の見直しを進める中で、高齢者外出支援タクシー制度のあり方についても検討してまいります。</p>	

令和3年度外部評価結果への対応

番号	5
事業等名	おやこサロン運営事業費
担当課	子育て支援課
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の設立により、おやこサロンは一定の役割を終えたのではないか。 ・おやこサロン運営事業は、子育て支援センターや児童館と同様に相談業務や子どもの遊び場の提供といった業務を行っているため、類似事業との統合も含めて検討し、結論が出たら市の単独事業である本事業を廃止することも考えられる。 ・現在のようにゆったりした空間で、じっくりと相談できることも必要であると考えるが、同様の事業を他にも実施しているのであれば統合した方がよい。しかし、子ども同士の遊びや行事に主眼を置く子育て支援センターや、対象年齢が広い児童館でも同様の対応ができるのか心配はある。 ・各地区のコミュニティセンター等を活用し、おやこサロンを交流の場に特化する事業に転換することも考えられる。この場合、各地区同士の利用者で交流することが想定されるため、より密接な交流が期待でき、成果が上がるのではないか。 ・市民目線から見ると、おやこサロンと子育て支援センターの違いが分かりづらい。それぞれの事業を今後も継続していく意向ならば、事業の名称、対象、特色等を整理して、利用者が事業内容を一目で判断できるように工夫する必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>本事業は児童館や子育て支援センターといった他事業との重複感がみられることから、おやこサロンとして行わなければならない内容であるのか疑問である。現状の枠組みの中で、ただ利用者数だけを増やしても中長期的に正しい選択であるとは言い切れないことから、他事業との統合や事業廃止も視野に入れた見直し、あるいは改善を図るための整理が必要であると考え、「他の施設（サービス）と統合したら利用しない」といった声もあるように利用者の個別の状況を考慮すると、ただ単に機能的に統合すればよいという問題ではないため、まずは利用状況の調査を行い、事業の必要性を検証されたい。</p> <p>また、相談業務に関しては、現在の就学前の子どもだけを対象とするのではなく、長期的には乳幼児から児童、生徒までを継続して見守っていける体制づくりを考えることができれば、なおよい。</p>
対応方針	
<p>おやこサロン「ひまわり」の利用状況を調査研究し、事業の必要性の検証や位置づけを明確化してまいります。</p>	

令和3年度外部評価結果への対応

番号	6
事業等名	子育て支援センター事業費
担当課	子育て支援課
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地区は民営の子育て支援センターが多く設置されている状況から、市が運営している同センターを（センターがない）南部地区への移転により、市全域をカバーすることを検討している点は評価できる。 ・子育て支援センター、おやこサロン及び児童館は、市の細かな運用方法の違いや予算種別によって分けられているように思われるが、他事業（施設）との違いが分かりにくいなど、市民目線での運用がなされているのかという部分に課題が残る。事業内容を機能別に整理できれば、より合理化できるのではないか。 ・コロナ禍で、これまでにない新たなニーズや問題が出てきていることが想像できる。特に相談業務に関しては、対面に限らずオンラインで実施することも利用人数を増やしていくために考えられる。 ・事業内容あるいは子育て支援センター自体を知らない家庭にも積極的に情報発信する必要がある。知られていないのはもったいないことである。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 （ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ） <hr/> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <hr/> <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>乳幼児から児童、生徒までを継続して見守っていけるような体制を整える動きが時代の潮流となっている中で、全国的に見ても子育て支援担当課をはじめ教育委員会、児童相談所等、各機関の連携が課題となって久しい。</p> <p>子育て支援センターについても上記を担う一部門として環境を整備していく必要があると考えられるが、まずは設置場所など現状の見直しを図りながら、市として長期的なあり方を定めていく必要がある。関係部署との連携方法の確立やおやこサロンなどの類似事業の整理も含めた見直し・改善を期待する。</p>
対応方針	
<p>子育て支援センターと親子サロンの関連性につきましては、一部重複する年齢層などを考慮し、事業内容の洗い出しを行い、位置づけを明確化してまいります。</p> <p>また、子育て支援センターの南部地区への移転につきましても、位置づけの明確化を踏まえ、移転の合理性について再検討を行います。</p>	